

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トゥー・ミー

To Me

5

May 2018
Vol.276



【ときめき人】

若葉 舞さん

【特集】

「全国に誇れる登米」発信

【ズームアップ】

中田中野球部

【今月の表紙】

東北風土マラソン&フェスティバルから
(関連記事 7 ページ)



Bandou Miyou



プロの演出で総合芸術
坂東美葉さん(29)
登米文化振興財団職員
公演事務を下支え

Takeuchi Keisi



「嶽内恭諱」を演じた
嶽内慶之さん(34)
興福寺法嗣
先祖を演じきれて安堵

関係者に聴く

Official's Voice

参加者たちからは前々から「プロの指導を受けたい」という声がありました。そこで、20回目の公演を記念してドリームキッズの演出をしている渡部三妙子さんに依頼。渡部さんは、役のイメージ作りを大切に、一人2から4役をこなしてもらい、37人のキャストを約60人に見せるなど、私たちでは考え付かない演出をして下さいました。今後も地域の題材をコーディネートし、登米市をアピールしていきたいですね。

財団職員から「嶽内恭諱を演じてほしい」と打診されたときは、正直戸惑いました。しかし、住職の勧めもあり、引き受けることに。稽古当初は、身振りなどの所作ができずに苦労しました。演出家から「ここは怒るところだから、感情をあらわにして」など、具体的な指示があったのでうまく修正できました。本番は不思議と緊張しませんでした。終わった後に先祖を演じきれてよかったと安堵しましたね。

「全国に誇れる登米」発信

市内の歴史や逸話を題材に、市民が創り上げる登米市民劇場「夢フェスタ水の里」(登米市、登米市教育委員会、(公財)登米文化振興財団主催、夢フェスタ水の里実行委員会主管)。20回目を迎えた夢舞台は3月3、4の両日、登米祝祭劇場で開かれ、詰めかけた大勢の観客を魅了した。



夢フェスタ水の里 耕野を駆けた旋風～南方 夜明けの丈夫群像～



1 貧しさに立ち向かった頃を回想しながら、いつまでも南方に豊かな実りが訪れることを願う嶽内恭諱たち 2 水田の区画整理に納得がいかない農民たち。村人たちのエゴがぶつかり合う 3 豊かな表情で、迫真の演技を見せる子供役たち。年齢性別を問わず、みんなで創り上げるのが夢フェスタ 4 舞台は、裏方も一緒に創っている。プロ顔負けのメイクで演者を引き立たせる 5 劇中、郷土芸能が舞台を彩る。伝統文化南方子ども日本舞踊教室の生徒たちが、舞踊を披露する 6 台風の状況が気になり、見回りに言った農民、川で流されそうになったが、無事だった父に娘が抱きつく 7 佐沼郷の一揆勢が大嶽山興福寺に結集。恭諱は「一揆ではなにも解決しない」と、必死に説得する 8 男衆の活躍は、内助の功があったこと。南方村を豊穡の里に変えた陰には、女性たちの支えがあった

観客に聴く

Audience's Voice



Onodera Hiroyuki/Toua

小野寺浩行さん(35)・翔葵くん(8)
迫町上舟丁

息子が出演したこともあり、初めて鑑賞しました。隣町にこのような歴史があったとは知りませんでした。多くの情報があふれる今の時代、大切な歴史を忘れないためにも、若い人たちに覚えてもらいたいですね。



Iwabuchi Teiko

岩淵貞子さん(70)
東和町米川2区

夢フェスタは、ほぼ毎年見に来ています。キャストとして参加したこともあります。議論と知恵で古里を変えるため、地域のリーダーらが要望書をまとめました。登米市の誇りですね。今後も期待しています。

形のない宝を創り続ける

市内の文化、歴史、人物などに光を当て、市民が手づくりする舞台公演。夢フェスタ水の里は、本市の隠れた良さを広く紹介する、地域おこし事業だ。市民が文化活動に参加する機会を提供し、本市ならではの芸術文化の発信を意図としている。

市内の文化・歴史・人物が題材なので、脚本はオリジナル。演出にもプロの手は入らない。脚本だけでなく、役者、舞台スタッフ、運営や広報など、公演に関わる全てを、市民ボランティアが担ってきた。しかし今回、演出にプロが加わった。登米文化振興財団で、夢フェスタを担当する坂東美葉さんは「20年間で、キャ

あらすじ

登米市南方町は江戸期には南方村と呼ばれ、仙台藩伊達家御一家の一つ、佐沼理家の領地の一部だった。だが、村内には低湿地が広がり、雨が降る度に田んぼが水浸しになった。そこに押し寄せた明治維新の荒波。村人たちは、社会構造の激変と不作との「二重苦」に立ち向かわざるを得なかった。

その先頭に立ったのが、初代村長を務めた好漢、嶽内恭諱。彼に続いたのが、佐藤成幸、千葉正太郎、白鳥仲治ら歴代村長や初代佐沼町長の巨理隆胤らだった。

彼らは地域のリーダーとして、耕地整理や排水機場を整備。貧困に立ち向かい、逆風を順風に変え、一大米の生産地、農業立町・南方をつくりあげていった…。

ストやスタッフもレベルアップ。『より良いものを皆さんに届けたい』という意識が高まった。その理由を語る。プロに演出を任せられた分、せりふや時代背景の勉強に時間を回せた。主役を務めた嶽内慶之さんは「初めての演技だったが、演出家からの指導があり、役のイメージを作りやすかった」。公演終了後、観客からの拍手や声援は例年にも増して多かった。夢フェスタは、先人たちの取り組みを通して、登米市が「全国に誇れる地域」であることを知ってもらうことを目的としている。20年間、このスタンスは変わっていない。これからも地域と財団が一つになり、登米市という「形のない宝物」を発信し続ける。

残るは

全国制覇

平成22年度野球部卒業生一同

第19回IBA-boys
全国中学生軟式野球大会3位

中田中野球部

氏名	位置	学年	氏名	位置	学年
佐々木歩夢	投手	2年	佐々木翔平	内野手	2年
今野 祐也	捕手	2年	船島 優太	内野手	2年
渡部 真叶	内野手	2年	三條 春輝	内野手	1年
菅原 京平	内野手	2年	藤川 紘希	内野手	1年
佐藤 健太	内野手	2年	志田 蒼太	投手	1年
佐藤 雄飛	内野手	2年	佐藤 礼	捕手	1年
佐藤優一郎	外野手	2年	沼倉 隼祐	捕手	1年
熊谷 終	外野手	2年	及川 寛大	内野手	1年
橘 康介	外野手	2年	山内 涼	外野手	1年
遠藤 涼空	外野手	2年	佐藤 那地	投手	1年

※学年は大会出場時

前列右から3番目が佐藤健太
副将、同5番目が佐々木歩夢
副将



中田中は、強豪校として名をはせている。部員は「自分たちが野球をできるのは、OB会、親の会や地域の皆さんなどの支援があつてこそ」と、常に感謝の気持ちを忘れず、厳しい練習にも音を上げない。中田中野球部のモットーは「人間性が日本一、野球も日本一」。部員らは学業でも、行いでも他の生徒の模範となっている。

残るは「野球での日本一」。佐々木監督は就任直後から「全国制覇」を目標に掲げている。今大会で目標実現に向けて光が見えた。中田中野球部は、関わる人たちが全ての思いを燃料に、光の方向に走り続ける。

準決勝の相手は優勝候補 北海道 SBC（北海道）。長打力と切れ目のない打線、140キロ台と高速スライダーを持つエースと固い守備を武器に、ここまで勝ち進んできた。中田中は惜しいところまで攻め込むも、0-5で3位に終わった。佐々木、佐藤両副将は「全国で勝つには、全てにレベルアップが必要」、佐々木監督は「プレーもだが、全力疾走での選手交代など、見習う点が多々あつた。その分、うちの選手にも伸びしろがある」と前を向く。

初戦のALL三条（新潟）は、緊張から打線がつかまらない。チャンスはあるものの、あと一本が出ず、7回まで0-0でタイブレークにもつれ込む。8回表、無死満塁から、2番志田が3点適時打を放つなど5点を先制。8回裏、先発の佐々木（歩）はインング規制から、佐藤（健）に交代。佐藤はプレッシャーのかかる場面でも落ち着いた投球で、相手を2点に抑え5-2で初戦を突破した。

関東の強豪、西東京修道ベースボールクラブ（東京西）との2回戦は、初回裏に1点を先制するも、4回表に3点を奪われ逆転を許す。主将の佐藤（雄）が県選抜での試合により不在で、守備に落ち着きがない。佐々木監督は「あせらず我慢」と選手に声を掛ける。守備陣がなんとか踏ん張り、無失点で切り抜ける。5回裏、6番今野が2死2、3塁からセン

バット前に弾き返し、同点の2点適時打。6回裏には、1番佐々木（歩）がセンター前に適時打を放つなど、5点を奪う猛攻を見せ、8-3で勝負を決めた。佐々木監督は「ずるずると流されず、5回表を抑えられたところが成長点」と振り返る。

第19回IBA-boys全国中学生軟式野球大会（公社少年軟式野球国際交流協会主催）は3月17、18の両日、千葉県柏市を会場に開かれ、中田中野球部（佐々木和志監督、部員20人）が3位に入賞した。

県境を越え課題解決

津山で4市町首長懇談会

登米市・栗原市・岩手県一関市・平泉町の「平成29年度第2回首長懇談会」は3月25日、登米市津山町の料理旅館三浦屋で開かれました。

懇談会は、人口減少、少子高齢化など、さまざまな課題を解決するため、4市町が県境を越えて実施している話し合いの場。4市町の首長は、それぞれの30年度予算や今後の方向性や取り組みなどを説明し、情報を共有しました。熊谷市長は「中身の濃い話し合いができ、満足しています。人口減少対策や企業誘致など、「圏域で連携して取り組めるものは、より一層連携を深めていきたい」と力を込めました。



現在4市町は、観光インバウンド（海外旅行者の誘致）などで連携。今後は多方面で連携し、さらなる発展を目指します。

快適なまちに向けて

積水ハウス包括連携協定

市と積水ハウス仙台シャームゾン支店の「包括連携協定締結式」は3月14日、市役所迫庁舎で開かれ、市と積水ハウス仙台シャームゾン支店は、市内の住環境の整備やそれを通じた快適なまちづくりについて協定を結びました。

同社は、神奈川県清川村などとの間で同様の協定を結んでいますが、本県自治体との協定締結は初めて。協定には、移住・定住住宅の整備、老朽化した市営住宅の再編や住環境整備を通じたまちづくり支援などが盛り込まれています。熊谷市長は「この連携を『住みたいまち登米』の実現につなげたい」と話していました。



協定書を手に、固く握手を交わす川村英史支店長(左)と熊谷市長。川村支店長は「登米市発展に協力したい」と語りました。

走り と 仮装 と 味満喫 風土マラソン&フェス



左：過去最多、約6千人が出場したマラソン。競技として走る人、風景と食を楽しむ人、仮装して盛り上げる人。風土マラソンには、さまざまな楽しみ方があります。中：エイドステーションでは、日本航空の客室乗務員が機内食「蔵王タルト」を配りました。右：ロックミュージシャンに扮して、マラソンを盛り上げるランナー。

東北の春フェス「東北風土マラソン&フェスティバル2018」(同実行委員会主催)は3月24、25の両日、長沼フットピア公園を主会場に開かれ、ランナーや来場者は東北の魅力を楽しみました。

マラソンは、24日のリレーマラソン、25日のフル、ハーフなど9部門に、17カ国からこれまで最多の約6千人が参加。ランナーたちは、コース内のエイドステーション(給水所)で、登米市名物のはっと、登米産牛のステーキ、南三陸町産めかぶのみそ汁や青森県産リンゴなど、東北の食を楽しみながら、春の長沼を駆け抜けました。お祭りランの本場、フランスのメドックマラソン同様、仮装するランナーも数多く参

加。今年のテーマは「ラン&ミュージック」で、アイドル、マイケル・ジャクソンやベートーベンなど、さまざまな仮装で見る者を楽しませました。

東北の特産品の飲食・物販ブースが並ぶ登米フードフェスティバルには、延べ約5万人が訪れ、東北の日本酒が勢ぞろいした東北日本酒フェスティバル、24日には、酒蔵見学や南三陸の沿岸部を巡る東北風土ツーリズムが同時開催。横浜市から参加した福井陵太郎君(9)は「トゥモローランで優勝できてうれしい。普段はラグビーをしています、マラソンも楽しかったです。食べ物もおいしかったので来年も出場したいです」と春の登米市に満足していました。

目で見て意識新たに

ジオラマを使い防災授業

「登米市段ボールジオラマ防災授業」(ボランティアサークルぴいす☆かんばに主催)は3月18日、迫公民館で開かれ、市内の中高生11人が水害対策などについて学びました。

同防災授業は、子どもたちがまちの防災について学び、緊急時の対策や意識を高めることが目的。同日は、防災ジオラマ推進ネットワークの協力で、段ボールのジオラマを使用し、佐沼中心市街地の地形について確認しました。河原花歩さん(17)=迫町萩洗=は「自分たちが住む地域の標高の低さに驚きました。有事の対策をしっかりと考えたい」と防災意識を新たにしました。



生徒らは、準備された防災ジオラマに、水色のテープで浸水地域を表示。可視化することで、その危険性を再認識しました。

日本語と文化を伝承

本市からウズベクへ派遣

東和町米川9区出身で青年海外協力隊員の鈴木早希さん(26)は3月22日、市役所迫庁舎を訪れ、熊谷市長に表敬訪問しました。

鈴木さんは、本年3月27日から2年間、青年海外協力隊員としてウズベキスタンのプハラで、日本語や日本の文化などを現地の青少年に指導、伝承します。プハラは、ウズベキスタンの首都タシュケントの450キロ北東に位置しています。大学時代は日本語教育を専攻。幼稚園勤務などを経て、このたび青年海外協力隊に参加を決意しました。鈴木さんは「日本語や日本の文化の素晴らしさを伝えたい」と目を輝かせていました。



ウズベキスタンの説明をする鈴木さん(中)。「伝えるだけでなく、多くを学んできたいです」と意気込んでいました。

01 市民活動総合補償制度

万が一のために

Information 01

【市民活動総合補償制度とは】

市は、市民の皆さんが安心して市民活動に参加できるよう、市民活動総合補償制度を設けています。この制度は、自治会、市民活動団体やその他市民活動をしている人が、無報酬での公益的な活動中にけがをしたり、誤って第三者を負傷させた場合などの不慮の事故を救済するためのものです。

保険料は市が負担し、保険会社と契約します。皆さんが事前に参加や登録の手続きをする必要はありません。



【補償制度対象となる主な活動】

市民活動の区分	具体例
1 社会教育活動	自治会活動(役員会・総会を含む)、清掃活動、河川・道路愛護活動、防犯・防火活動、婦人会活動、除雪ボランティアなど
2 社会福祉・社会奉仕活動	
3 青少年健全育成活動	
4 市主催事業などへの参加・手伝い	※対象となる活動のための会議や準備活動、活動場所から住所地までの往復の移動中も含まれます。
5 地域社会活動	

補償の対象とならない主な活動

宗教・政治・営利を目的とした活動、学校などの行事、銃器を使用する有害鳥獣駆除活動、趣味などを目的としたスポーツや文化活動など

【事故が発生したら】

事故発生から30日以内に、最寄りの総合支所市民課(市が実施した事業での事故は事業担当課)へ、事故報告書に活動の概要を把握できる資料(通知文、お知らせなど)を添えて申請してください。

■賠償責任補償

(第三者の身体・財物に損害を与え、法律上の賠償責任を負う場合)

区分	補償金支払限度額	免責金額
身体賠償	1人につき6千万円 1事故につき2億円	1事故につき1万円(自己負担額)
財物賠償 (受託物含む)	1事故につき1千万円 (受託物は100万円)	

※補償の対象とならない主なもの=交通事故などの車両によるもの、同居親族に対するものなど

■傷害補償

(活動中の事故で負傷、もしくは熱中症などを発症し、通院した場合)

区分	補償金支払限度額
死亡補償	1人につき300万円
後遺障害補償	1人につき9万~300万円(後遺障害の程度による)
入院補償	1日につき3千円(180日を限度)
通院補償	1日につき2千円(90日を限度)

※補償の対象とならない主なもの=自覚症状がわからないむち打ち症や腰痛、脳心疾患・疾病(熱中症、日射病、細菌性食中毒を除く)など

【問い合わせ】企画部市民協働課(市民活動支援係)

☎ 0220(22)2173 FAX 0220(22)9164

Information 02

みどりの森林を次世代へ 植樹祭参加者を募集

市と県は、「市民参加の新たな森林づくり」春の植樹祭の参加者を募集します。

植樹祭では、誕生記念・結婚記念日など、皆さんのそれぞれの記念を標柱にするし、植樹する「わたしの記念植樹」も併せて実施します。ぜひご参加ください。

①市民参加の新たな森林づくり植樹祭

【開催日時】5月20日(日) 午前10時~午後1時(小雨決行)
【集合場所】津山町「道の駅津山」もくもくランド駐車場

【集合時間】午前9時30分
【植林場所】津山町横山字大萱沢地内

※集合場所から植林会場まではバスで送迎します。

【募集人員】150人(先着順)
【参加料】無料
【持参する物】軍手、長靴
【申し込み期限】5月11日(金)
【申し込み方法】電話、ファクシミリ、電子メール
※ファクシミリ、電子メールの場合は、参加者の住所、氏名、年齢、電話番号を記入してください。

②「わたしの記念植樹」

【募集人員】先着40人
※ファクシミリ、電子メールの場合は、参加者の住所、氏名、年齢、電話番号、記念名(初孫誕生記念など)、標柱に入れる名前を記入の上、「記念植樹」と明記してください。
【申し込み・問い合わせ】産業経済部産業振興課(林業振興係)
☎ 0220(34)2716
FAX 0220(34)2801
✉ sangyoshinko@city.tome.niyagi.jp



Information 04

高校生絵画展作品を募集



昨年の大賞作品

【対象者】県内の高校に在学、または市内在住の高校生

【応募規定】①1年以内に制作(模写などを除く)した油彩画、水彩画、版画など、壁面に展示可能なもので未発表の作品
②キャンバスサイズは20×30号、パネルサイズはB2、A1判
③作品は額装を基本、奥行きは6センチ以内(額縁含む)

【出品点数】1人1点(作品の共同制作は不可)

【応募期限】5月8日(火)

【応募方法】出品申込書に必要事項を記入の上、学校ごとに取りまとめ、郵送またはファクシミリでお申し込みください

【展示場所】登米祝祭劇場(小ホール)

【展示期間】5月31日(木)~6月3日(日)午前9時30分~午後6時(3日は午後3時まで)

【入場料】無料
【表彰】▼大賞1点▼優秀賞2点▼優良賞4点程度▼佳作5点程度

【表彰式】6月3日(日)午後3時30分~登米祝祭劇場(小ホール)

【申し込み問い合わせ】企画部市民協働課(地域振興係)
〒987-0511 登米市追町佐沼字中江二丁目6番地1
☎ 0220(22)2173
FAX 0220(22)9164

Information 03

自分らしく登米市で暮らす 移住・定住をサポート



市は、市民の皆さんがいつでも住み続けたい、移住を考えている皆さんには、定住の地として選んでいただけるよう支援しています。

●住まいサポート事業

①住宅取得補助金/市内に移住・定住するために、住宅を新築または購入(取得から1年以内)した人に、住宅取得経費の一部を助成します

【補助金額】

▼住宅を新築または購入
転入者(上限額80万円)
転入者以外(上限額30万円)
▼中古を購入

転入者(上限額60万円)
転入者以外(上限額20万円)
▼加算額(市内業者が施工した場合)10万円、中学生以下の子どもがいる場合1人につき5万円

②住宅家賃補助金/夫婦で

市外から転入し、アパートなどを賃借した場合に、月額1万5千円を限度に2年間助成します(夫婦のどちらかが40歳未満)

●空き家情報バンク事業

市内の賃貸、売却可能な空き家の情報を募集しています。提供された情報は、市の

空き家情報バンクへ登録した後、空き家利用希望者へお伝えします。物件情報の提供および利用を希望する場合はお問い合わせください。

【注意事項】

▼登録物件は、必ず賃貸借、売買できるとは限りませんので、ご了承ください。

▼市は、登録された物件の紹介や連絡調整をしますが、賃貸借や売買に関する交渉、契約などの仲介はしません。仲介は、市内の提携不動産業者を紹介しします

●空き家改修事業補助金

空き家情報バンクを活用して空き家を改修する人に、対象工事費の2分の1(上限額50万円)を助成します。

※補助金の申請額の総額が予算額に達した場合は、受け付けを終了します。

【問い合わせ】企画部企画政策課(移住・定住促進係)/移住・定住相談専用ダイヤル

☎ 0220(23)7331
✉ tome-life@city.tome.niyagi.jp

※登米市の移住・定住支援の詳しい情報は、市公式ホームページで紹介しています。
URL = <https://www.city.tome.niyagi.jp/shisejoho/juteju/index.html>

あなたの力を登米市で

05 医療局職員を募集

■職種、採用予定人員など

職種	採用予定人員	受験資格
看護師	20人程度	【免許保有者】昭和44年4月2日以降生まれの人 【免許取得見込者】昭和54年4月2日以降に生まれ、平成31年3月31日までに卒業・免許取得見込みの人（※長期勤務によるキャリア形成の観点から応募資格に年齢制限を設けています。）
薬剤師	3人程度	薬剤師の免許保有者、または平成31年3月31日までに卒業・免許取得見込みの人

※採用予定人員は、変更することがあります。採用は、平成31年4月1日（資格・免許取得見込みの人は5月1日）の予定です。

■試験日、申込期間など

回数	試験日	受験申込受付期間	合格発表	試験項目	備考
看護師第1回	5月27日(日)	5月17日(木)	6月8日(金)	小論文試験(1時間) 面接試験 健康診断 資格調査	郵送での申し込みは、受付期間中の消印のものに限ります
看護師第2回	8月12日(日)	7月3日(火)～8月2日(木)	8月24日(金)		
看護師第3回	10月14日(日)	9月4日(火)～10月4日(木)	10月26日(金)		
薬剤師	5月27日(日)	5月17日(木)	6月8日(金)		

■試験会場

登米市民病院・地域医療連携センター(多目的ホール)

■受験申込

申込書は、医療局経営管理部総務課で配布します(午前8時30分～午後5時15分[平日])。郵便で請求する場合は、封筒の表に「応募職種名」、「採用試験申込書請求」と朱書きし、宛先を明記した120円切手が貼ってある返信用封筒(A4版が入る大きさ)を必ず同封してください。詳しくは、市ホームページをご確認ください。

【申し込み・問い合わせ】

医療局経営管理部
総務課(人事係)
〒987-0511登米市迫町
佐沼字下田中25番地
(登米市民病院内)
☎0220(44)4795

06

あなたのCM作品をテレビで放映

東日本放送の主催で開催されている「みやぎふるさとCM大賞」。今年も広く市民の皆さんからの作品を募集しています。多数のご応募をお待ちしています。

【募集点数】1点。※応募多数の場合は、応募内容により選考します

【作品の内容】観光、物産、伝統、人物、歴史、自然など、登米市の自慢や魅力を表現した未発表の作品

【作品タイトル】25文字以内
【作品秒数】30秒

【作品企画】ビデオテープ(HDCAM・HDV)またはビデオデータ(AVI・MPEG2・MOVなど)

【応募資格】市内に在住または勤務する人や団体で、映像制作を職業としていない人ならどなたでも応募できます

【著作権】応募作品の著作権は市に帰属します

【応募方法】6月29日(金)までに①氏名(団体の場合は団体名と代表者氏名)②住所③電話番号④職業または学校(学年)⑤作品タイトル(仮称可)

⑥作品の大きな内容を任意の様式に記入の上、直接または電子メールでご連絡ください

【応募期限】作品は、9月14日(金)までに総務部市長公室広報広聴係へ提出してください
【制作費など】制作、編集・加工の費用は、全て応募者負担となります

【申し込み・問い合わせ】

総務部市長公室(広報広聴係)
☎0220(22)2090
✉koho@city.tome.niyagi.jp



07

第3子以降の小学生の保護者に入学祝金を支給

この春、第3子以降が小学校に入学した保護者に、入学祝金を支給します。

【対象】5月1日時点で市内に住所を置き、本年4月に第3子以降が小学校に入学した保護者

【支給金額】1人につき3万円
【申請】4月下旬に、申請書と支給要綱などを小学校を通し

て送付します。支給対象となる場合は、5月31日(木)までに、申請書に必要事項を記入して小学校へご提出ください

【決定通知】申請書の内容を確認して、後日、結果を通知します

【その他】第3子以降が小学校に入学しても、該当しない場合があります。支給の詳細に

ついては、支給要綱などをご確認ください。また、登米市に住所を置き、第3子以降が他の市町村の小学校に入学した場合は、教育委員会教育部学校教育課までお問い合わせください

【問い合わせ】教育委員会教育部学校教育課(教育振興係)
☎0220(34)2679

08

Jアラートの緊急情報を即時に情報伝達試験を実施

市は、全国瞬時警報システム(Jアラート)から送られてくる弾道ミサイル発射などの緊急情報を、防災行政無線などで確実に伝えるため、情報伝達試験を実施します。全国一斉ですので、皆さんご了承ください。

【日時】5月16日(水)午前11時から

【問い合わせ】総務部防災課(防災危機対策係)
☎0220(22)2130

情報伝達手段	放送内容(訓練)
①防災行政無線	市内に設置している全ての防災行政無線から、一斉に次のように放送します。 【放送内容】(上りチャイム音)→「これは、Jアラートのテストです」×3回→「こちらは、防災登米市広報です」→(下りチャイム音)
②コミュニティFM放送	コミュニティFM「はつとエフエム」で、次の内容を放送します。 【放送内容】(無音1秒程度)→「こちらは、登米市役所です。緊急放送をお知らせします。発表日時2018年5月16日〇時〇分〇秒、即時音声合成メッセージが発令されました。これは、Jアラートのテストです」
③登米市メール配信サービス	登米市メール配信サービスに登録している人のパソコンや携帯電話に、次の内容のメールを送信します。 【送信内容】件名：即時音声合成メッセージ発表/本文：「発表日時2018年5月16日〇時〇分〇秒、即時音声合成メッセージが発令されました。これは、Jアラートのテストです」

※登米市以外の地域でも、全国的に試験が実施されます。

09

女性によるまちづくり「101人女子会」を開催

【対象】市内在住・在勤・在学の女性

【参加費】無料

【講師】立教大学社会学部大学院21世紀社会デザイン研究科教授/萩原なつ子氏

【託児】6カ月以上未就学児。無要予約、先着順。定員あり。無料

【申し込み】各総合支所・公民館・ふれあいセンターに備え付けの申込書に記入の上、ファクシミリでお申し込みください。市公式ホームページ、電話でも受け付けます

※ウェブ申込みは市公式ホームページトップページから「101人女子会」と検索してください。

【申し込み締め切り】5月18日(金)

【定員】101人

【申し込み・問い合わせ】企画部市民協働課(市民活動支援係)

☎0220(22)2173
☎0220(22)9164
✉shiminkyodo@city.tome.niyagi.jp



市は、誰もが生き生きと暮らせるまちづくりを進めるため、「登米市女性会議」を設置します。

同会議のキックオフイベントとして「101人女子会」を開催します。カフェでおしゃべりするうちに、暮らしのこと、仕事のこと、子育てのことなどを自由に語り合ってください。寄せられた声は、登米市女性会議につなげていきます。女子会で気軽にしゃべりしてみませんか。

【日時】5月26日(土)午前10時～正午
【場所】南方農村環境改善セン

登米市の未来を創る起業家などを支援

●登米市ふるさと創生ベンチャー起業支援事業

地域で新たなビジネスや雇用を創出するため、創業時、または創業に向けての技術取得経費の一部を、補助金などで支援します。

【支援対象の選考方法】ビジネスプランを提出いただき、審査会で選考。地域経済への波及効果、雇用創出効果の高いものを採択します。

【対象者】市内で31年3月までに新たな事業を開始する人 ※すでに個人事業主で、新たな事業を開始する場合やフランチやイズチェーン店のオーナーなど、本社からの指示により事業を実施する場合は対象となりません

【支援の内容】対象者には①＋③、または②により支援

①創業時支度金
【対象経費】支援対象期間(交付決定後)平成31年3月15日)の従業員の人件費、官公庁への申請経費、店舗などの借り上げ費、設備費、委託費など
【補助率】2件程度。補助対象経費の4/5(上限240万円)

●技術習得支援金

【対象経費】支援対象期間(交付決定後)平成31年3月29日)の長期技術習得負担金、各種申請費用、旅費、滞在費、保険料など

【補助率】1件程度。補助対象経費の4/5(上限240万円)

③融資(ふるさと創生ベンチャー起業支援資金融資)

【金利】1%
【融資限度額】1千万円
【償還期間】最長8年
【信用保証料】市が全額負担
【公募期間】5月31日(木)まで



●産学官連携研究開発等支援事業

市内事業者と、大学などの学術機関が連携した先進的、実験的な製品・技術開発を支援します。

【対象者】市内の農業者、中小企業、小規模事業者など

【補助対象経費】市内事業者が大学などの学術機関と連携しての製品・技術開発、調査研究・交流活動の設備費、材料費、旅費、謝金、借り上げ料、分析経費など

【想定される取り組み】下請け製造、仕入れ販売専門事業者のオリジナル製品開発や研究開発など、活動領域を拡大させる/機能性・加工食品の開発など

【補助率】補助対象経費の2/3(上限500万円)
【公募期間】5月31日(木)まで

●「国・県・市の補助金等説明会」を開催

6次産業化や農商工連携の最新情勢などの紹介と、事例を盛り込んだ国・県・市の支援施策・事業の説明会を開催します。

女性の皆さん気軽に相談を 女性医師健康相談を開催

女性医師が、悩んでいる女性の相談に応じます。思春期や更年期の身体的・精神的不調、家庭や職場でのストレスなどでお悩みの皆さん、ぜひご利用ください。

【日時】5月12日(土)午後2時～4時

【場所】塩竈市公民館(仙台市に通勤・通学をし、仙台市会場を希望する場合はご連絡ください)

【相談料】無料(要予約)
【予約先】宮城県女医会女性の健康相談室

TEL 090(5840)1993
URL = http://www.miyagi-m.wa.com/katsudou.html
受付時間 午前9時～午後5時(土日、祝日を除く)

～健康寿命の延伸目指し～ 「2018 生き生き健康フェスティバル」

【日時】5月26日(土) 午前10時～午後4時(午前10時開場)

【会場】登米祝祭劇場

【内容】

- 講演:午後1時30分～(90分程度) テーマ「ゴルゴ塾 命の授業」 講師:お笑いコンビ TIM ゴルゴ松本氏
- 展示・体験コーナー:午前10時～午後4時
 - ▶健康チェックコーナー▶がん予防コーナー
 - ▶がん患者・家族サポートコーナー▶登米市民病院コーナー▶くすりと健康コーナー▶食生活改善コーナー▶マイナンバーカードコーナー
 - ▶健康寿命延伸コーナー▶健康ウォーキングコーナー▶こころと命コーナー▶受動喫煙ゼロコーナー

【問い合わせ】市民生活部健康推進課(健康推進係) ☎0220(58)2116



ゴルゴ松本氏(お笑い芸人)

2011年から、少年院でボランティア講演の活動をする。漢字や歴史の話などに笑いを交えながら、「命」「言葉」「人生」「日本人」をテーマに、魂のこもった熱い授業を展開する。

5月のこころの相談

日	場所・時間・担当・予約先
7	中田保健福祉会館 13:30～15:30 医師 ☎0220(34)2311(中田総合支所)
9	豊里公民館 13:30～15:30 カウンセラー ☎0225(76)4113(豊里総合支所)
15	追保健センター 13:30～15:30 医師 ☎0220(22)5554(追総合支所)
25	東和総合支所 13:30～15:30 精神保健福祉士・臨床心理士 ☎0220(53)4113(東和総合支所)
29	米山総合支所 10:00～14:00 カウンセラー ☎0220(55)2112(米山総合支所)

登米市民病院小児科の日曜日救急診療
●診療時間 9:00～17:00 (16:30まで受け付け)
【問い合わせ】登米市民病院 ☎0220(22)5511

5月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
3	上杉皮膚科医院(迫町) ☎0220(21)1380	ちば歯科クリニック(迫町) ☎0220(22)6007
4	サンクリニック(南方町) ☎0220(29)6060	かがの歯科医院(中田町) ☎0220(35)2552
5	新田診療所(迫町) ☎0220(28)3398	高橋歯科医院(登米町) ☎0220(52)3210
6	豊里病院(豊里町) ☎0225(76)2023	津山歯科診療所(津山町) ☎0225(68)3244
13	菅原内科クリニック(迫町) ☎0220(22)0888	安藤歯科医院(迫町) ☎0220(22)0811
20	八嶋中央診療所(石越町) ☎0228(34)2013	中田歯科診療所(中田町) ☎0220(34)4148
27	佐藤医院(南方町) ☎0220(58)2058	玉歯科医院(南方町) ☎0220(58)2722

●診療時間 9:00～17:00
【休日急患当番医】
●休日・夜間診療案内 ☎0229(24)2267(24時間)
●第2次診療 登米市民病院 ☎0220(22)5511
【問い合わせ】登米市医師会 ☎0220(22)2084 ※月～金曜日(休日を除く)
【歯科休日当番医】
【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116 ※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください。

【日時】4月26日(木)午後1時30分～4時

【場所】中田農村環境改善センター

【対象者】農業者、中小企業者
【内容】①講演「6次産業化を巡る情勢と国の支援施策」②農商工連携を巡る情勢と国の支援施策③農業・商工業関連支援事業概要と活用事例④個別相談会

【参加料】無料

【申し込み】電話、ファクシミリ、電子メールでお申し込みください

※ファクシミリ、電子メールの場合は、団体名、住所、氏名、参加人数、電話番号を記入の上「平成30年度国・県・市の補助金等説明会」登米参加希望」と明記してください。

【申し込み・問い合わせ】産業経済部産業連携推進課 ☎0220(34)2549 ☎0220(34)2801
✉sangyorenkei@city.tome.miyagi.jp
※要領などは、市公式ホームページに掲載しています。

渡邊誠氏が副市長に就任



平成30年3月8日に開催された平成30年登米市議会定例会2月定期議会で、渡邊誠氏を新たに副市長に選任することについて同意され、4月1日付けで任命されました。任期は、平成34年3月31日までの4年間です。

【渡邊氏略歴】

昭和47年、迫町倉崎生まれ。東北学院大学、福島大学大学院卒業。平成3年4月、農林水産省へ入省。前職は、東北大学大学院農学研究科戦略統括部門 特任講師。

栗山副市長が退任



栗山健作副市長が3月31日に退任しました。栗山氏は、平成28年4月1日から2年にわたり本市の副市長を務め、市勢発展に尽力されました。



5月の献血日程



①5日(土)
▶イオンタウン佐沼 10:00～11:45 13:00～16:30

②20日(日)
▶イオンタウン佐沼 10:00～11:45 13:00～16:30

※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市ホームページをご覧ください。下記にお問い合わせください。

【問い合わせ】市民生活部健康推進課(健康推進係) ☎0220(58)2116

自殺予防 仙台いのちの電話

ひとりじゃないよ 話を聴かせて ☎022(718)4343

いろいろなことに、悩み、苦しんでいる人の「こころの声」を聴きます。

こども夜間安心コール

●電話番号 #8000 (ブッシュ回線の固定電話、携帯電話から) ☎022(212)9390 (ブッシュ回線以外の固定電話、PHSから)
●相談時間 毎日午後7時～翌朝午前8時

休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応) ☎0229(24)2267



豊里

大きくなって帰っておいでね

「サケの放流体験」(北上川漁業協同組合、同豊里支部主催)は2月20日、豊里水辺の公園で行われ、豊里小の5年生54人が参加。サケの稚魚を旧北上川に放流しました。放流体験は、生き物や自然から、生命の大切さを学んでもらうことが目的。児童たちは、バケツに入れた稚魚約10万匹を、雨どいから川に放ちました。小さな体に秘められた力強さを感じながら、サケが無事に成長し再会することを誓いました。

久々の再会喜び旧交を温める

「第35回東京米山会総会」は3月25日、東京都江東区にあるホテル「アンフェリシオン」で開かれ、都内在住の会員など75人が出席し、旧交を温めました。総会後の懇親会では、久しぶりに会った友人と再会を喜び、思い出話を花を咲かせました。会場は、地区対抗による歌合戦や歌謡ショー、お楽しみ抽選会などで大盛り上がり。「道の駅米山」の物産品も販売され、参加者は懐かしい古里の味を買い求めていました。



米山

年代問わずフットサルで親睦

「第23回フットサル石越大会」(石越町サッカー協会主催、金寛秀会長)は3月18日、石越体育センターで開かれ、9チーム70人が年代を越えて対戦を楽しみました。大会は、スポーツの普及拡大と競技力の向上が目的。今年で23回目を迎え、市内外から愛好家が集結しました。大人から中学生まで、幅広い年代層の選手たちが白熱した試合を繰り広げ、選手たちは心地よい汗を流しながら、親睦を深めました。



石越

交通死亡事故連続ゼロを誓う

南方地区の交通死亡事故ゼロ期間が3月5日で500日を迎え、佐沼署は9日、市に感謝状を贈りました。南方庁舎で贈呈式があり、当日は佐沼署員をはじめ、地区コミュニティ団体、交通安全関係団体などが出席。佐沼署の高橋直嗣署長から、猪岡秀博南方総合支所長に感謝状を手渡しました。猪岡支所長は「地域の取り組みに感謝します。今後も特に高齢者への啓発を重視し、一日でも長く交通死亡事故連続ゼロを続けたい」と気持ちを新たにしました。



南方

日頃から健康課題を意識して

「いきいきシニアセミナー」(津山公民館主催)は3月7日、津山公民館で開かれ、31人の高齢者が受講しました。セミナーでは、登米市民病院の看護師らが身近な健康問題をテーマに講演。喫煙・受動喫煙が体に及ぼす影響や、お酒の飲み過ぎが原因の病気などについて、分かりやすく説明を受けました。生涯、心身の健康を保っていくには、日頃から自分の健康課題と向き合う必要があります。受講生からは多くの質問が寄せられ、健康に対する意識を深めました。



津山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

清掃で環境美化の大切さ確認

スポーツ少年団迫支部(阿部正一支部長)主催の「クリーンキャンペーン」は3月21日、迫地区で行われ、28団体の団員と保護者、指導者など450人が清掃活動に参加しました。当日は晴天に恵まれましたが、冷たい風が吹く中での作業。分担しながら、迫大東公園や長沼フットピア公園などのごみを念入りに集めました。参加者は、愛着ある場所の清掃活動を通して、環境美化の大切さを再確認しました。

感謝の気持ちを風船に込めて

認定こども園に移行する「登米保育所閉所式」は3月23日、同所で行われ、園児らは思い出が詰まった学び舎から、感謝の気持ちを込めて風船を飛ばしました。登米保育所は1941(昭和16)年に開所。56(昭和31)年に日根牛地区へ移転後も、長きにわたり地域の子どもの成長を見守ってきました。4月からは、登米北上こども園が開園、これまでの登米保育所と北上保育園を再編した幼保連携型認定こども園になります。



登米



東和

ユニカールで親睦を深め合う

「第37回東和女性スポーツ大会」(同実行委員会主催、及川清子大会長)は3月17日、米川公民館で開かれ、約40人が爽やかな汗を流しました。競技は、冬季オリンピック種目のカーリングを、屋内でも楽しめるようにスウェーデンで考案されたユニカール。米谷・米川・錦織の地区ごとに13チームを編成し、白熱した試合を展開しました。勝ち負けにこだわらず、お互いに声を掛け合い楽しんだ参加者は、親睦を深めました。

川面が見渡せるほどきれいに

「夏川堤防敷一斉清掃」(中田地区北上川水系夏川河川愛護会主催、熊谷憲雄会長)は3月11日、同河川敷で実施され、地域の環境美化に努めました。一斉清掃は、毎年春と夏に実施。春はごみの収集と草刈り、枯草焼却作業をしており、会員約300人が参加しました。堤防には雑草のほか、多くのごみが散乱していましたが、約2時間の作業後には、川面が見渡せるほどきれいになりました。



中田

3月9日までの3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち



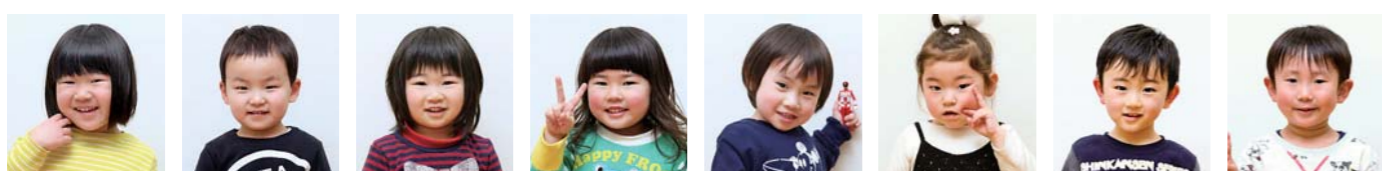
阿部 宏翼くん (追町山の内) 伊藤 由乃ちゃん (追町中江) 小野寺悠莉ちゃん (追町東表) 佐藤 凜くん (追町五日町) 佐藤 璃心ちゃん (追町下舟丁) 佐藤 璃歩ちゃん (追町板橋) 三迫 芽衣ちゃん (追町釣場) 高橋権之進くん (追町品の浦)



高橋 優芽ちゃん (追町山の上) 中村 仁人くん (追町八幡) 新田 叶依くん (追町大形) 畠中 美実ちゃん (追町西館) 衛田 空和ちゃん (追町光ヶ丘西) 山田 柁陽くん (追町山の上) 李 銘軒くん (追町大網西) 小野寺結愛ちゃん (登米町新町)



菊田 大翔くん (登米町新町) 千葉 正翔くん (東和町米谷9区) 阿部 晴太くん (中田町東) 伊東 優芽ちゃん (中田町島代) 小野寺 凜ちゃん (中田町館) 鎌田 杏花ちゃん (中田町舟場) 佐々木 滯ちゃん (中田町大柳) 佐藤 聖華ちゃん (中田町町)



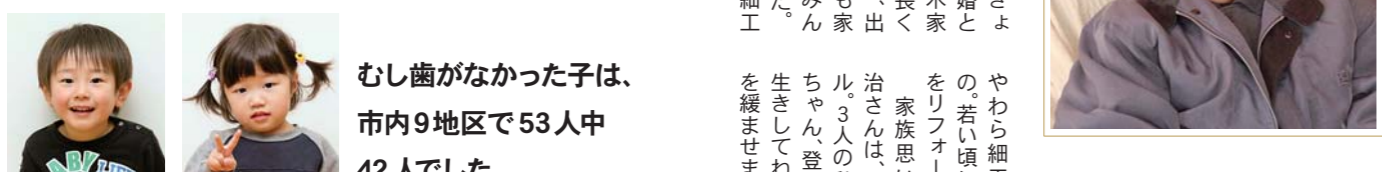
川村 佳子ちゃん (登米町十五貫) 佐藤 蒼空くん (登米町山根) 佐藤 美花ちゃん (登米町東二ツ屋) 三條 瑠花ちゃん (登米町下町) 志賀 健哉くん (登米町山根) 松田 琉花ちゃん (登米町上谷地) 安住 恵太くん (米山町猪込) 海野 秀人くん (米山町貝待井)



加藤 愛琉ちゃん (米山町砥落) 鈴木 快和くん (米山町六軒屋敷) 高嶋 佑月くん (米山町六軒屋敷) 新井 結陽ちゃん (米山町六軒屋敷)



阿部太平洋くん (石越町第十一) 鈴木 日陽くん (南方町高石) 千葉 珠夏ちゃん (南方町沼崎) 米田 空翔くん (南方町新高石)



佐藤 凌太郎くん (津山町黄牛町) 亀井 葵心ちゃん (津山町宮町)

むし歯がなかった子は、市内9地区で53人中42人でした

いつまでもお元気で

おめでとうございます
祝100歳



佐々木 正治さん (豊里町・山根) 大正7年3月10日生まれ

正治さんは、6人きょうだいの4番目。結婚と同時に独立し、佐々木家の礎を築きました。長く迫町の鮮魚店に勤め、出勤は夜明け前。店でも家でも大黒柱として、みんなに頼られていました。手先が器用で、竹細工

やわらか細工は、お手のもの。若い頃には、自分で家をリフォームしました。家族思いで優しい正治さんは、一家のアイドル。3人のひ孫からついでに、登米市で一番長生きしてねとの声に、ほほを緩ませました。

一般向け

子ども向け

PICKUP-04 まんがでわかる「隣のサイコパス」



名越 康文/監修
サイコパスは、凶悪犯罪者だけではない。社会の中で活躍しながら他人の生活を脅かす。謎に満ちたサイコパスの特徴や心理を漫画で解説。

PICKUP-05 「フランス流 捨てない片づけ」



米澤 よう子/著
パリで暮らした著者が、パリジェンヌやマダムから学んだ「物が多いたのにスッキリおしゃれ」な部屋作りの極意を、キュートなイラストで紹介しています。

PICKUP-06 意味がわかるとソクソクする超短編小説「54字の物語」



氏田 雄介/著
一つの話が、54字ちょうどで終わる超短編小説。紡がれた物語に込められた意味が分かったら、ソクソクする全90話を収録。各話の解説も掲載しています。

続々新刊が入荷。詳しくは市ホームページで

Library Topics

みんなの図書館

利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします

「こどもの読書週間」スペシャルカーニバルを開催

登米図書館は、読書推進運動協議会が定める「こどもの読書週間」に合わせて、イベント「スペシャルカーニバル」を開催します。子どもだけではなく大人も楽しめるので、この機会に子どもの本に触れてください。

【開催期間】4月24日(火)～5月12日(土)

※対象図書が無くなり次第終了

【時間】午前9時～午後5時

【場所】登米図書館

【問い合わせ】登米図書館

☎0220(52)5330



PICKUP-01 超ビジュアル!歴史人物伝「伊達政宗」



矢部 健太郎/監修
伊達政宗の人生を、漫画とイラストで紹介。大迫力のCGで合戦や名城を再現し、甲冑、陣羽織、城跡などの資料を多数掲載。東北の地を愛した政宗の生涯に迫る。

PICKUP-02 「恋するいきもの図鑑」



今泉 忠明/監修
動物も人間と同じように恋をする。自分を好きになってもらうために、さまざまな方法で気持ちを伝えようとする動物たちの、驚きと感動のプロポーズ集。

PICKUP-03 「まあるいたまご」



西内 としお/絵
ページをめくると、卵が割れていくような仕掛けが楽しい「手遊び歌」の絵本。キラキラの大きな卵からは何が生まれるか。読んで、歌って、遊べる楽しい絵本。

イベント名	対象	内容
お楽しみ袋	幼児～小学生	絵本や児童書を5冊セットで貸し出します。中身は、開けてみてのお楽しみ。
手作りしおりプレゼント	幼児～小学生	図書館利用者に、手作りのしおりをプレゼント。
みんなにお勧め	市民一般	登米図書館お勧めの児童書や絵本を展示、貸し出します。
みんなに教えて	幼児～小学生	お気に入りの絵本を、カードに書いて教えてください。特設コーナーに掲示して、紹介します。

■開館時間 午前9時～午後5時
■休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など(中田図書室は祝日も開室)
※その他、館内整理など不定期での休館もありますのでお問い合わせください
■問い合わせ 追図書館 ☎22-9820
登米図書館 ☎52-5330
中田図書室 ☎34-8081



Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

佐々木 颯太君

ささき・そうた 北方小6年
追町・永田

料理でたくさんの人を 笑顔にしたい

ぼくの将来の夢は、おばあさんの店を継ぐことです。店は食堂をしていて、季節に合わせてメニューを変えています。おばあさんがいろいろ工夫しているので、店に来てくれたお客さんが、笑顔で食べてくれます。おばあさんのように、料理でたくさんの人を笑顔にするのが、ぼくが店を継ぎたい理由の一つです。それから、忙しい合間を縫って、いろいろしてくれるおばあさんの手助けをしたいのも、もう一つの理由です。

おばあさんに夢のことを話すと「喜んでほしい」と言ってくれました。おばあさんにいろいろ教えてもらって、少しでもおばあさんに近づきたいと思います。おばあさんの店を継いで、たくさんの人が笑顔になれる料理が作れるように、いろいろなことを頑張っていきたいです。

Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



小学3年のほのかお姉ちゃんが、たくさん面倒を見てくれます。二人とも大好きだよ。

佐藤 ミリヤちゃん(5カ月)
2017年10月30日生まれ
南方町・新高石
洋さんの次女



いつも元気いっぱい、歌や踊りが大好き。これからも元気にたくましく育ってね。

菊川 蒼斗くん(2歳)
2015年6月26日生まれ
追町・中江
里紗さんの長男

Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

齋藤 大生さん(20)

さいとう・たいせい
豊里町・上谷地

★身長と血液型 178㎝でB型です。

★現在は 市内の介護施設で働いています。家族の勧めもあり、介護の仕事に就きたかったので、介護福祉が学べる高校に進学しました。卒業後に就職、仕事の大変さを感じる毎日ですが、利用者の喜ぶ顔を見ると励みになりますね。20歳になりましたが、十代の頃と比べ、心境の変化はあまりありません。仕事をしながら、今まで支えてくれた家族に恩返しをしたいと思います。

★自分の性格 わずかなことでも、解決しないと落ち着かない性格。短所ならいくらでもあるけど、自分のことをアピールするのが苦手ですね。

★趣味は バイクが好きで、昨年6月に中型免許を取りました。父親から譲ってもらった400ccのバイクに乗っていますが、全身で風を感じるのがとても気持ちいいです。

★理想の女性像 眼鏡を掛けている女性に魅力を感じます。早く結婚して、子どもが欲しいですね。おじいさん、おばあさんにひ孫を見せて喜んでもらいたいです。

★今やってみたいこと 高校の修学旅行で行った沖縄での思い出が忘れられません。いつかまた行ってみたいです。大阪にあるユニバーサル・スタジオ・ジャパンも行きたい場所の一つ。ジェットコースターのような乗り物は苦手ですが(笑)。

★登米市について一言 環境、人、おいしい食材など、いいところがたくさんあり、安心して暮らせるまちだと思います。もっと市内のことを知り、ずっとこのまちに住み続けたいと思っています。



～「わが家のアイドル」を募集～

3歳までの子どもたちを募集しています。ご家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。
＜応募方法＞①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦コメント(50字程度)⑧写真データを添付し応募してください <応募先>総務部市長公室広報広聴係
〒987-0511 追町佐沼字中江二丁目6番地1 Eメール:koho@city.tome.miyagi.jp 電子申請:
<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi/uketsuke/dform.do?acs=212dolMyHome>

電子申請QRコード





狩野 一也さん(75) とみ子さん(72) 迫町・平柳 1966(昭和44)年11月入籍

楽しみを持って好きなことを

★二人のなれ初めは 【とみ子】なれ初めなんてない よね。実家も近くで、小学生の頃から知ってたから。 【一也】二人とも高校卒業後、東京の学校さ行って、あっちでもこっちでも会ってたが、それで決めたようなもんだな。 ★お互いの性格は 【一也】面倒見がいいんだよ。 【とみ子】運動ばかりしてきた人で几帳面。家のこと以外は責任感があるかな(笑)。 ★現在の楽しみは 【一也】たまにだけと、車で遠出して、旅行さ行くこと。孫の成長も楽しみ。 【とみ子】下手だけど、歌っことが好き。迫コーラス「エコー」で、仲間さん入れてもらってるの。誰でも参加できるし、毎週水曜日に迫公民館で歌ってるから、来てみてください。 ★夫婦円満のコツは 【とみ子】お茶っこ会で聞いたけど、年取ったら「今日行く」のごと、「今日用事」あることが必要なんだって。それ守って、お父さんも私もいつも出かけてる。別々にだけけど(笑)。楽しみを持つことが大切な。 【一也】けんかはするよ。んだけど、次の日までっていうのはないかな。お互いのことに口出ししてもらおうのが一番だな(笑)

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「万葉の桜に願ひ込め」

古里を離れてから、半世紀がたとうとしています。年を重ねるにつれ、幼少の頃を夢に見ては当時を思い出すようにになりました。今更懐かしんでも仕方ないことです。が、自然豊かな古里は、幾つになっても優しく語りかけ、力強く抱擁してくれます。

私にとつての古里は、かけがえない唯一無二の財産です。脆弱でセンチメンタルな心象風景の思いだけではなく、春・夏・秋・冬の明確な自然の輪廻があり、心温まる人がいるからです。 「ふるさととは遠きにおいて思ふもの」と人口に膾炙されていますが、私たちはとても

小野寺 健吉さん(66)

東京迫会事務局長 迫町(鉄砲丁)出身



恵まれています。いつでも帰ることができる古里があるからです。このことは、都会で生活し、徒に馬齢を重ねてきたからこそ分かるものだと思います。

東京迫会は、故郷を共にする同士の会で、会員相互の親睦交流と情報交換、市歴史博物館への石碑の寄贈、農産物の購入、東日本大震災の義援金など、迫町に寄与貢献するために、1986(昭和61)年に設立しました。私も当初からボランティア活動を続け、幸運なことに今年で33年目を迎えました。「黄泉の国」にいる父の遺産なのか、よくくじけずに続いているものと感じます。改めて、支援・協力を頂いている市役所や関係協力団体、会員の皆さんに感謝しています。

年々歳々、東京迫会の会員は高齢化が進み、会員数や総会・懇親会の参加者数が減少しています。魅力ある東京迫会にするため、横川会長を筆頭に、役員一同知恵を出し合い、奮闘しているところです。関東一円に在住する皆さんの入会を切に望んでいます。古里、鹿ヶ城公園の万葉の桜が、思いがけない出会いと幸運をもたらしますように。

おらほの道の駅

道の駅米山 「ふる里センターY・Y」



春の風物詩「米山チューリップまつり」を開催。敷地1haに約10万株、60種の色鮮やかな花が咲き誇ります

今月は、道の駅米山「ふる里センターY・Y」の山崎準一 郎駅長にお話を伺いました。 Q「米山チューリップまつり」について教えてください 4月26日から5月10日まで、当道の駅西側で「米山チューリップまつり」を開催します。敷地約1haに約10万株、60種の赤、白、黄色やピンクなど、色鮮やかなチューリップが咲きそります。花は、姉妹都市の富山県入善町などから球根を買い付け、育てたもの。午前9時から午後4時まで、1株200円、3株500円で販売します。雨天



会場のチューリップは1株から購入できます

などの場合は、販売を中止することがありますので、お問い合わせください。 Qまつりで開催されるイベントなどを教えてください 期間中は、次のイベントを

開催します。▼4月29日(日) 午前9時/第10回東北地区高等学校丸山相撲大会▼5月3日(木)午前11時/米山愛子歌謡ショー▼5月4日(金)午前11時/よさこい乱舞▼5月5日(土)午前11時/宮野浅太郎一座股旅舞踊ショー 道の駅では、地元農家が栽培したイチゴ「もういっこ」などの新鮮な農産物や、人気商品イチゴソフトクリームなどを販売しています。こちらにも、ぜひ足を運んでください。 【問い合わせ】道の駅米山「ふる里センターY・Y」 ☎0220(55)2747

まちの文芸 俳句・川柳

作品募集!

●6月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、4月27日(金)まで応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

俳句・川柳

古布ゆれて旧家にぎわうつるし籬 休日は曾孫主役の癒しの日 満開の菜の花続く減反路 ロープウェイ昇る眼下に紅椿 伊豆沼の夕陽背にして雁帰る 仕舞湯に夜陰を破る猫の恋 ニン月や南の国に地震のあり

遊佐 弘子 (迫) 佐々木三次 (登米) 須藤 捷子 (東和) 千葉 勝保 (東和) 千葉サキコ (東和) 及川 廻 (中田) 小野寺禮喜子 (中田)

紅梅を愛でし亡き母来てらむ

梅の花こぼる々ま々に風やさし 励むものあるは幸せ針供養 ふらここを漕ぐや白雲乙がまま 陽射し受け季節をゆずる松の雪 でのひらへ便り嬉しき春の雪 雪の果これより野畑大笑い 冬晴れや編隊組みつ鳥の過ぐ

菊地 典子 (中田) 佐々木栄一 (中田) 千葉 かつ子 (中田) 二木 ゆきこ (中田) 山内 晨 (中田) 今野 ひろ子 (豊里) 浅野 のり子 (津山) 大友 ふき江 (津山)

応募総数33作品

情報場 広場 Information

募集

Nice To Meet You セブピー婚活を開催

●登米市男性と仙台圏女性の出会いイベント
【日時】5月20日(日)午前11時～
【内容】▼午前11時～11対1 コミュニケーションタイム▼
 正午～さわやかな森林の中でランチ交流会
【場所】登米森林公園(登米町)
【人数】男女各20人
【参加費】5千円
【対象者】20～40歳までの独身男性
【参加条件】①市内在住、または市内勤務の男性②特別講座「自分磨きセミナー」(事前セミナー)を受講できる男性
 ○自分磨きセミナー/男塾「男を磨く!会話術」講座



園エクステンションセンター(担当:佐藤・高橋)
 ☎0220(55)3776

地域で役立つ技能 ライフアップ講座開講

さまざまな技能を身に付け、地域活動などで役立ててもらおう「ライフアップ講座」を開催します。

【参加費】無料
【コース・開催日】①パワーコース(バス・開催日)②カメラコース(6月5、12、19日)③指先ケアコース(6月22日)④指先ケアコース(6月15、19日)⑤DIYコース(障子・網戸の張り替え)⑥6月6日⑦南京玉すだ

住宅入居者を募集	
募集する住宅	
定住促進住宅	石越定住促進住宅 1号棟104号室、1号棟201号室、2号棟106号室、2号棟304号室、2号棟306号室(石越町南郷字館前176番地1) ▶募集戸数=5戸(3DK)/家賃月額=3万5000円/駐車場利用は1台まで
定住促進住宅	石越定住促進住宅 2号棟405号室(石越町南郷字館前176番地1) ▶募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=2万7500円/駐車場利用は1台まで
定住促進住宅	石越定住促進住宅 1号棟505号室(石越町南郷字館前176番地1) ▶募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=2万5900円/駐車場利用は1台まで

【入居資格】住宅に困っている世帯 ※定住促進住宅は、一定以上の所得があることなどの要件があります。駐車場の契約は、別途1台2千円かかります
【申込期限】5月9日(水) ※期限厳守
【申し込み先】各総合支所市民課、または建設部住宅都市整備課(市役所中田庁舎2階) ※郵送不可
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅整備係) ☎0220(34)2316

【講師】対人力&笑顔力アップ コミュニケーション/高野真弓氏
【日時】5月13日(日)午前10時～正午(午前9時30分から受け付け)
【場所】アルテラスおおあみ(追町佐沼字大網)
【人数】20人
【参加費】無料
【申し込み期限】5月5日(土)
【申し込み・問い合わせ】NP O法人ハビふるWedding ☎070(5474)4683
 ※独身者に出会いの場を提供するもので、結婚相手を紹介するものではありません。

●無料相談室
【日時・場所】5月20日(日)午前10時～正午/南方町内(お問い合わせください)
【申し込み期限】開催日5日前まで
【パソコン教室】
 ①ワード
【開催日】5月8日(火)
 ②エクセル
【開催日】5月15日(火)
【申し込み期限】受講日前日まで
【場所】迫にぎわいセンター
【申し込み・問い合わせ】NP

O法人パソコン・ネット・みやぎ
 ☎0220(21)5262

外国文化に触れる やさしい中国語講座

簡単な日常会話ができるよう勉強します。
 ●日本語講座
【日時】平成31年3月まで/毎週金曜日/午後7時～9時
【場所】迫公民館(1階研修室)
【対象者】市内在住の外国人
【受講料】年間3千円
 ●やさしい中国語講座(初級コース)
【日時】5月30日～7月18日/毎週水曜日(全8回)/午後7時～8時30分
【場所】迫公民館(1階研修室)
【対象者】市内在住者
【定員】20人
【受講料】千円(全8回分)
【申し込み】随時受け付け
【問い合わせ】登米市国際交流協会(月・水・金)
 ☎0220(52)2144
 ✉tifa-kokusai@cods.ocn.ne.jp

大事な命を救うため 普通救命講習会を開催

【日時】5月20日(日)午前9時

れコース⑥6月23日⑦パリスコース⑧6月14日⑨バルーンアートコース⑩6月8日⑪マジックコース⑫6月14、20、23日

【問い合わせ】

登米市社会福祉協議会 迫支所 ☎0220(22)3537
 登米支所 ☎0220(52)4889
 東和支所 ☎0220(45)2139
 中田支所 ☎0220(34)2030
 豊里支所 ☎0225(79)1135
 米山支所 ☎0220(55)2644
 石越支所 ☎0228(34)2501
 南方支所 ☎0220(58)5303
 津山支所 ☎0225(68)2161

お知らせ

障がい者の社会参加促進
自動車燃料費を助成
【内容】指定給油所で、給油のできる利用券(1枚千円分)を交付。月2枚まで利用可能(年間最大24枚)

夜間納税相談窓口 (4月・5月分)

【日時】4月26日(木)
5月31日(木)
いずれも午後8時まで
【場所】市役所迫庁舎(1階)
 総務部収納対策課
【問い合わせ】
 総務部収納対策課
 (徴収対策係)
 ☎0220(22)2169

農業・6次産業化実践科 受講者を募集

三幸学園では、地域の特産物を活かした商品の開発・流通・販売まで、一連のビジネスを展開できる人材。今回、関連分野への就職実現を目的に、職業訓練を実施します。
【訓練期間】5月31日(木)～9月28日(金)

【対象者】世帯の住民税が非課税で、次のいずれかに該当する人①身体障害者手帳1・2級、内部3級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級で、自動車所有し運転している、または障がい者のために運転する②身体障害者手帳下肢3級で、自動車を所有し運転している③療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級、または18歳未満で身体障害者手帳1・2級、内部3級のうち、障がい者のために運転する
 ※福祉タクシー利用助成事業・透析患者通院費助成事業の利用者、社会福祉施設入所者、申請時に継続して3カ月以上入院している人、生活保護受給者は対象外。
【対象車両】普通自動車、小型自動車、軽自動車、4輪以上※携行缶など、対象車両以外の給油はできません
【交付手続き】各総合支所市民課で随時受け付け、交付
【持参するもの】①障害者手帳②運転免許証③車検証④印鑑
【問い合わせ】
 ▼福祉事務所生活福祉課(障害福祉係)
 ☎0220(58)5552
 ☎0220(58)2375
 ▼各総合支所市民課(市民係)

DAIYU HOME CENTER
 登米中田店
 毎月8のつく日 8日 18日 28日 + 毎週土曜日
 税込3,240円以上お買上げで
 ポイント5倍
 野菜苗・季節の花苗 入荷しました
 ※写真はイメージです

ダイユー・イト 登米中田店案内図 広告
 ウジエスーパーさん
 マツモトキヨシさん
 菊玉堂さん
 JAみやぎさん
 中田総合体育館
 登米市立登江小学校
 ヨークタウン内ダイユー・イト 登米中田店
 宮城県登米市中田町石森字駒ヶ原400
 TEL 0220-23-9433
 営業時間 あさ8時～よる8時まで

確かな技術で まかせて安心 広告
 電気工事・オール電化工事・電気通信工事
 太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検
 有限会社 五島電機
 登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
 TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて 広告
 KUMANEN 熊谷燃料住設株式会社
 災害時安定供給施設
 ■アクアショップ KUMANEN ■BFC クマナン 【関連企業】
 ■コインランドリー 清潔空間 ■なごみの家きらり ■熊谷オウイング
 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字北畝田 120 番 1
 TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
 http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

登米祝祭劇場 5月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
1㊤ ～ 31㊤	● 迫にぎわい絵画教室 作品展 【時間】午前10時～午後5時 ※最終日は正午まで 【会場】レストラン 【入場料】無料	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
1㊤ ～ 6㊤	● 第14回登展 ～登米市民ふれあい美術展～ 【時間】午前9時30分～午後5時 ※最終日は午後3時まで 【作品解説】6日午後2時～3時 【会場】小ホール 【入場料】無料	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
5㊤ (祝)	● 佐沼高校吹奏楽部 第53回定期演奏会 【開演】午後1時30分 【会場】大ホール 【入場料】無料	佐沼高校 ☎ 0220(22)2022
13㊤	● プロレスリング DEWA 登米大会 【開演】午後1時30分 【会場】小ホール 【入場料】無料	プロレスリング DEWA ☎ 090(2020)0894
18㊤	● よしもとお笑いまつり in 登米 2018 【開演】①午後5時②午後7時30分 【会場】大ホール 【入場料】全席指定3500円	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
27㊤	● 第7回宮野浅太郎杯 全国大会チャリティーショー 【開演】午前10時 【会場】大ホール 【入場料】指定2500円、自由2000円	同実行委員会 ☎ 090(3983)3753

※5月の休館日は、7日、14日、21日、28日です
※入場料は前売り価格です

集会施設の建設や改修を補助します

地域の集会施設建設や改修費用の一部を補助します。

【対象事業】①集会施設の建設および購入②施設の修繕および模様替え(バリアフリー化含む)、増築

【補助率・上限額】補助対象経費の2分の1以内で①新築②1千万円③修繕、模様替えなど④250万円

【対象外経費】①門、柵、植樹などの付帯工事費および購入費②用地の取得費③既存建物の解体費④備品費など

【受け付け期限】平成31年度事業分の要望①10月31日(水)※事前に、スケジュールや対象経費などについてご相談ください。

【申し込み・問い合わせ】企画部市民協働課(市民活動支援係)
☎ 0220(22)2173

芸術文化団体の事業経費を補助します

芸術文化団体が主催する大会経費の一部を補助します。

【対象事業】市内で芸術文化団体が主催する各種大会(音楽、伝統芸能、美術、文芸など)で

障がい者の社会参加促進福祉タクシー利用助成

【内容】指定タクシーで利用できる利用券(1枚小型タクシー基本料金分)を交付。月4枚まで利用可能(年間最大48枚)

【対象者】本人の住民税が非課税で、次のいずれかに該当する人①身体障害者手帳1～3級で、在宅酸素濃縮器か車椅子を常時利用している②療育手帳A③精神障害者保健福祉手帳1・2級

障がい者の社会参加促進福祉タクシー利用助成

※障害者自動車燃料費助成事業・透析患者通院費助成事業利用者は対象外。

【交付手続き】各総合支所市民課で随時受け付け、交付

【持参するもの】①障害者手帳②印鑑
※平成29年1月1日以降に市内に転入した場合、前住所地の市区町村から、住民税の課税(非課税)証明書を取得し、申請時に提出してください。

【問い合わせ】福祉事務所生活福祉課(障)

全国的な規模で実施するもの【補助率・限度額】次のいずれか少ない額とし、50万円を上限①補助対象経費の2分の1以内②補助対象額(全体経費から協賛金を除く諸収入を控除した額)の2分の1以内。ただし、協賛金が上回る場合は、補助対象額から協賛金を控除した額

【受け付け期限】平成31年度事業分の要望①9月28日(金)※事前に、提出書類などについてご相談ください。

【申し込み・問い合わせ】企画部市民協働課(地域振興係)
☎ 0220(22)2173

「不正大麻・ケシ」発見したらすぐに連絡を



大麻や一部のケシは、法律

ねんきんだより 国民年金保険料納付は納期限までに

平成30年4月分から平成31年3月分までの国民年金保険料は、月額16340円です。保険料は、金融機関・郵便局・コンビニエンスストアで納められます。納付書払い以外の納付方法は、クレジットカードやインターネットなどを利用したもの、便利でお得な口座振替などがあります。日本年金機構では、納付期限までに保険料が納付されない場合、電話、文書、訪問により早期納付の案内をしています。未納のまま放置すると、強制徴収の手続きにより督促。

指定期限までに納付がない場合は、延滞金が課されるだけではなく、納付義務者(※)の財産を差し押さえることがあります。早めの納付を心掛けてください。

所得が少ないためなど、納付が困難な理由がある場合は、免除・猶予制度がありますので、市役所各総合支所市民課国民年金窓口へご相談ください。

※納付義務者は、被保険者本人、連帯納付の義務を負う配偶者および世帯主になります

【問い合わせ】
▼ねんきんダイヤル ☎ 0570(05)1165
▼古川年金事務所 ☎ 0229(23)1200
▼市民生活部国保年金課(年金医療係) ☎ 0220(58)2166

で栽培が禁止されています。ケシは、春から夏にかけて色鮮やかで美しい大きな花を咲かせるものが多く、ガーデニングや切り花用の植物として人気があります。しかし、植えてはいけないうえには、園芸用のものと外観が似ている品種があるため、注意が必

要です。不正大麻やケシは犯罪に利用されることがあります。不正栽培、自生しているものを発見したときは、保健所や警察署までご連絡ください。

【問い合わせ】登米保健所(食品薬事班)
☎ 0220(22)6120

害福祉係

☎ 0220(58)5552
FAX 0220(58)2375

▼各総合支所市民課(市民係)

震災被害者への資金貸付 受付期限を1年延長

東日本大震災で、住居の被害などを受けた世帯の再建資金を貸し付ける「災害援護資金貸付金」の受付期限が1年延長されました。

【受付期限】平成31年3月31日まで

【貸付条件】償還期間13年(据置期間6年)年賦・半年賦で償還

【利率】年1.5%(連帯保証人がいる場合は無利子)

【貸付限度額】被害程度に応じ、最高350万円

【貸付要件】世帯の所得合計による所得制限があります。詳しくは、市公式ホームページで確認するか、お問い合わせください

【問い合わせ】福祉事務所生活福祉課(福祉総務係)
☎ 0220(58)5552

<p>人と環境への新しい優しさを目指して お気軽にご相談下さい</p>	<p>株式会社 清建 環境プロバイダ 本社/〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3 TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658</p>	<p>仙台(営)/〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目18-1 泉ネットワーク・ビル2階 広告 TEL.022-797-5930 FAX.022-797-6980 南三陸(営)/〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313 TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122 URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp</p>
	<p>有限会社 清建物流 TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535 本社/〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1</p>	<p>有限会社 リースキン宮城 TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字 下田中53番地8</p>

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

<p>株式会社 刺蒸くまがい</p>	<p>●●働く会社●● 法事・宴会 中田中学校通り 0220-34-5002</p>
<p>株式会社 誠香社</p>	<p>葬儀からご法要までの一環システム 登米市内ホールは5ヶ所ございます。(お選びいただけます) 24時間受付 0220-34-4856(代表)</p>

5月の納税

固定資産税・・・1期
国民健康保険税・・・1期
介護保険料・・・1期
水利地益税・・・1期

忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で

納期限/平成30年5月31日(木)

登米市の人口・世帯数

(平成30年3月末現在)

地区	世帯数	人口(人)		
		男	女	計(前月比)
迫	7,592	10,026	10,606	20,632 (▲146)
登米	1,800	2,330	2,538	4,868 (▲37)
東和	2,388	3,174	3,298	6,472 (▲26)
中田	5,080	7,671	8,024	15,695 (▲85)
豊里	2,140	3,303	3,358	6,661 (▲15)
米山	2,814	4,512	4,695	9,207 (▲35)
石越	1,589	2,457	2,488	4,945 (▲24)
南方	2,676	4,229	4,422	8,651 (▲12)
津山	1,175	1,598	1,747	3,345 (▲18)
合計	27,254	39,300	41,176	80,476 (▲398)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています。

市内の交通事故発生状況

(平成30年3月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	H30	H29	増減数
人身事故発生件数	36件	58件	▲22件
死者数	0人	1人	▲1人
負傷者数	45人	78人	▲333人
物損事故発生件数	495件	403件	92件

※平成30年1月からの延べ件数(前年同期と比較)

警察署からのお知らせ

ゴールデンウィークの時期は、渋滞や長距離運転が要因の漫然・過労運転などによる交通事故の増加が予想されます。運転の際は、「急がず」「慌てず」「時間にゆとりを持って」、運転に集中しましょう。

市内放射線の測定結果

測定日:平成30年4月10日 単位:マイクロシーベルト

測定地点	測定結果	天気
消防署	0.06	晴れ
消防署北出張所(石越)	0.04	晴れ
消防署東出張所(東和)	0.03	晴れ
消防署津山出張所	0.05	晴れ
消防署南出張所(豊里)	0.05	晴れ
消防署西出張所(南方)	0.04	晴れ

空間放射線量の測定結果はホームページに掲載およびメール配信しています。

■カウンセラーによる教育相談日

相談日	相談時間
5月 8日☎、23日☎、31日☎	①10:00~10:50 ②11:00~11:50 ③13:00~13:50 ④14:00~14:50 ⑤15:00~15:50 ⑥16:00~16:50
6月 12日☎、21日☎、28日☎	

ください。相談専用電話も用意しています。相談専用電話も用意しています。

【相談場所】視聴覚センター(2階教育相談室)

※来所の際は、直接2階教育

佐沼署の外壁を工事利用の際はご注意を

現在、佐沼警察署の外壁等改修工事を実施しています。

東日本大震災被災者の水道加入金などを減免

東日本大震災被災者の水道加入金、各種手数料の減免措置を、平成30年度も継続します。

- 【減免する手数料など】①水道加入金②給水装置工事設計審査手数料③給水装置工事しゅん工検査手数料④道路占用申請事務手数料
- 【対象者】東日本大震災で居住する住宅が、り災証明書により全壊、大規模半壊と判断され、市内に自らが居住する住宅を新築・改造する人
- 【減免割合】全額とします
- 【必要書類】給水装置工事申込書、り災証明書(写し)
- 【申請期間】平成31年3月31日まで
- 【問い合わせ】水道事業所水道管理課(業務係) ☎0220(52)3311
- 【申し込み】登米市水道お客様センターとよま ☎0120(531)167(フリーダイヤル)

相談室に入室ください。相談室に入室ください。

【相談方法】面接相談、電話相談とも要電話予約

【予約時間】月〜金曜日(祝日を除く)午前8時30分〜午後5時

【相談専用電話】☎0220(22)8125

【予約・問い合わせ】登米市教育研究所 ☎0220(22)8029

催し

歴史博物館 春の講座・イベント情報

春を感じるお茶会
古民家で庭園を眺めなが

期間は5月25日まで。来客者駐車場は庁舎南側ですが、工事関係車両が通行していますので、ご注意ください。

また、足場を設置していますので、通行の際は頭上を十分にご注意ください。

【問い合わせ】佐沼警察署会計課 ☎0220(22)2121

もの忘れ相談 精神科医が応じます

高齢者で「最近物忘れが多くなった」「元気がなく何もやるうとしなくなった」「ちょっと気になるけど、どうしてかわからない」「病院に連れて行きたいけど本人が行きたくないと言っている」など、気になることや困りごとがあるときはご相談ください。精神科医が相談に応じます。

事前に予約が必要です。で、地域包括支援センターまでご連絡ください。

【日時】5月25日(金)午後1時30分

【場所】市役所南方庁舎(1階相談室)

【連絡先】☎0220(58)5551

歴史博物館 ニコライ・ネフス キーがみた登米地方の歴史 治郎とオシラ様研究

1920(大正9)年8月、民俗学や言語学などで優れた研究を残したロシア人ニコライ・ネフスキーは、南方村の高橋清治郎に導かれ、オシラさまや巫女、ザシキワラシなど、地域の民間信仰や伝承を

年金相談に応じます 年金相談所を開設

相談は完全電話予約制。前日までにご連絡ください。

※予約の際に「相談者氏名」「基礎年金番号」「電話番号」「相談内容」などを確認させて

障がい者の自立に向けて

- ① 迫地域包括支援センター ☎0220(22)1152
- ② 中田・石越地域包括支援センター ☎0220(34)7611
- ③ 石越分室 ☎0228(34)4151
- ④ 東和・登米地域包括支援センター ☎0220(53)4811
- ⑤ 登米分室 ☎0220(52)5090
- ⑥ 米山・南方地域包括支援センター ☎0220(29)5821
- ⑦ 南方分室 ☎0220(58)4311
- ⑧ 津山・豊里地域包括支援センター ☎0225(68)3780
- ⑨ 豊里分室 ☎0225(76)4811
- 【問い合わせ】福祉事務所登米市基幹型地域包括支援センター(長寿介護課内) ☎0220(58)5551

『事前申し込み』必要

※和菓子がなく、次第、終了となります。

【歴史講座】ニコライ・ネフス キーがみた登米地方の歴史 治郎とオシラ様研究

【事前申し込み】必要

【参加費】無料

【日時】5月5日(土・祝)午後1時30分〜3時

【場所】歴史博物館(ホール)

【参加費】無料

【事前申し込み】必要

ら、ゆつたりとしたひとときを過ごしませんか。

【日時】5月3日(木・祝)午前10時〜午後2時

【場所】旧互理邸

【参加費】400円(抹茶・和菓子代)

【事前申し込み】不要

※和菓子がなくなり次第、終了となります。

【歴史講座】ニコライ・ネフス キーがみた登米地方の歴史 治郎とオシラ様研究

障がい者の自立に向けて」のご相談を開設

【日時】5月22日(火)①午前9時30分②午前11時③午後1時30分④午後3時

【場所】県東部保健福祉事務所登米地域事務所

※職業のあつせんではありませんのでご注意ください。

【相談・申し込み・問い合わせ】☎0220(34)2734

『事前申し込み』必要

【日時】5月6日(日)午後1時〜3時(少雨決行)

【集合】歴史博物館

【コース】歴史博物館〜佐沼城本丸〜西館〜御陣場山〜首壇〜歴史博物館

※小学生以下が参加する場合は、保護者もご同行ください。

【定員】10人

【参加費】無料(飲み物などは各自用意ください)

【事前申し込み】必要

【問い合わせ】歴史博物館 ☎0220(21)5411

書き留めています。今回は、ネフスキーの書簡から二人の研究と足跡をたどります。

【日時】5月4日(金・祝)午後1時30分〜3時

【場所】歴史博物館(研修室)

【定員】20人

【参加費】無料

【事前申し込み】必要

【日時】5月5日(土・祝)午後1時30分〜3時

【場所】歴史博物館(ホール)

【参加費】無料

【事前申し込み】必要

『子どもについての悩み』相談ください

学業、不登校、いじめなど、子どものいろいろな悩みを抱えていませんか。経験豊かな専門のカウンセラーが、教育相談に応じています。

相談は無料で、秘密は厳守しますので安心してご相談ください。

【日時】5月22日(火)①午前9時30分②午前11時③午後1時30分④午後3時

【場所】県東部保健福祉事務所登米地域事務所

※職業のあつせんではありませんのでご注意ください。

【相談・申し込み・問い合わせ】☎0220(34)2734

一人で抱え込まないで 多重債務者無料法律相談

【日時】5月25日(金)午後1時15分〜4時15分

【場所】迫にぎわいセンター

【担当】開発育子(司法書士)

【相談専用電話】☎0220(34)2308

【相談料】無料(要電話予約)

【問い合わせ】産業経済部商業観光課(商業振興係) ☎0220(34)2734

【日時】5月24日(木)午前9時30分〜正午、午後1時〜3時30分


【場所】市役所南方庁舎(2階中会議室)

【予約受付問い合わせ】古川年金事務所 ☎0229(23)1200

洪水情報は緊急速報メールで

国が管理する北上川下流・旧北上川でははんらの危険性が高まったとき、緊急速報メールを自動で発信します。メールを確認したら、降雨状況や北上川下流・旧北上川の水位を「川の防災情報」で確認しましょう。

【問い合わせ】国土交通省北上川下流河川事務所 ☎0225(94)9854



ときめき人

Tokimeki bito

すこっぷ三味線通じ 「和の心」を 多くの人に伝えたい



追町・一市

若葉 舞さん

わかば・まい
(本名 大友 愛穂さん)
1981年生まれ 血液型/O型

Profile

幼少期から舞踊を始め、1995年に名取を取得、2014年から新日本舞踊若葉流の筆頭師範を務める。16年からは、民謡歌手の祖母が歌った「東北新幹線音頭」「米ぶし」で、歌手としても活動中。



すこっぷ三味線に興味がある人は、若葉舞音楽事務所まで ☎090(9425)9643

「体中の血が騒ぎ、心が震えました」と振り返る若葉さん。母が経営する喫茶店で「すこっぷ三味線」の生演奏を聴き、その場で演奏者に教えを仰いだ。

すこっぷ三味線は、宴会芸として始められたのが起源とされている。スコップを三味線、栓抜きをばちに見立て、曲に合わせてたたいたりこすったりする。「簡単そうに見えますが、きれいな音はなかなか出ません。悔しくて、来る日も来る日も練習に明け暮れました」と間口の広さと奥深さを話す。

弟子入りして間もなく、師が脳梗塞で倒れる。同門の弟子らと代打でイベントなどに参加するが、師との違いは明白。日の浅い演奏者に送られた拍手はごくわずかだった。それでも腐ることなく、練習と本番の日々を繰り返していった。

名が売れ始めた17年12月、青森県五所川原市で開かれた「第11回すこっぷ三味線世界大会」に出場する。曲は「津軽情話」。この日のために何百回と繰り返し練習を重ねてきた。左手で棹をつかみ、曲に合わせて上下させる。独特のばちさばきで、スコップとは思えない音色を奏で、客席からたくさんの歓声と拍手が送られた。結果は優勝。「真っ先に先生の顔が浮かんだ。あの時の師の演奏が、ここまで私を連れて来てくれました」。

現在は指導する立場になり、生徒の数も増えている。「すこっぷ三味線のルーツは、和の伝統文化。伝統文化の素晴らしさを、スコップと栓抜きで多くの人に伝えたい」。若葉さんの歩いた後には、新芽が始めている。

編集後記

▼広報誌の発行は、市民や関係者、上司、同僚、印刷屋の皆様など、オールto meの力があってこそ。今号を最後に異動することに。万感の思いを胸に、関わった全ての皆さんに感謝してペンを置きます。(及川)

▼4月から別部署に異動となりました。この2年間たくさんの方に迷惑をかけたことが、支えられたことに深く感謝しています。これまでお世話になった皆さま、本当にありがとうございました。

(千葉)

▼三寒四温を繰り返した、また新しい季節を迎えました。広報担当者も、新メンバーに変わります。環境の変化が速すぎる時代ですが、変わらない登米市の良さを、これからも伝えていきたいと思えます。

(伊藤)

▼新しく担当することになりました。初取材は認定こども園の入園式でしたが、園児以上に緊張しました。初めての広報担当ですが、子どもたちに負けないよう成長していきます。よろしくお願います。(小野寺・高橋・三浦)



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)

<https://mail.cous.jp/tomecity/>

